

飯山商工会議所 経営発達支援事業評価委員会 会議（顛末）

令和元年6月24日（月）午前10時～

飯山商工会議所 2階会議室

1 開 会 南澤事務局長

2 あいさつ 飯山商工会議所 木内専務理事

平成28年度計画認定を受け、平成33年度まで実施計画に基づいて事業を行う。昨年の内容を活かして次につなげていく。今回は令和元年度事業計画についてご意見賜りたい。

3 協議事項

(1) 令和元年度飯山商工会議所経営発達支援事業計画について

- ・支援テーマ「売れるしくみづくり」（ヒアリング等による課題抽出を重視）
- ・重点支援事項 ①消費税軽減税率対応相談等事業
②事業計画策定事業 ⇒ 事業承継につながる支援
③創業支援およびフォローアップ

(2) 当地域における小規模事業者の課題等について

- ・金融支援、キャッシュレス関連事業、空き店舗活用と創業など

【長野商工会議所中村広域専門指導員】

- ・空き店舗と新規開業希望者とのマッチングを扱うサイト等があり、長野で活用今後、広域事業として活用を模索中。キャッシュレスは様子を見ている状況かと思う

【信用保証協会大久保支店長】

- ・空き店舗情報は情報が画面で見れるような工夫が必要。また、「あるよ」という情報をどうやって伝えるか、情報のつなぎ方が課題。情報を集約する場が欲しい

【飯山市森山商工観光課長】

- ・移住者の起業などは雇用ビジネス課が担当する（商工会議所としてはやりにくい）
宿泊環境整備事業においてキャッシュレス対応費用に対して補助を設けた。

【北信地域振興局土屋商工観光課長】

- ・観光分野でのQRコード普及に期待している。
移住者用の住宅物件と商業用空き店舗の情報を両方掲載していくほうがよい。

【中小企業診断士伊藤先生】

・空き店舗の場合具体的にどこが空いているのか、どこなら使えるかという情報が少ない。不動産屋さんからの情報のみでは、なかなか契約に結びつかない。
契約者（事業者）の目線での情報公開は商工会議所だからこそできること

【日本政策金融公庫井上事業統括】

・創業セミナーのメリット（成果）は十分理解している。また計画経営を考えている方はデータ経営を活かしている実績も見てきた。空き店舗については、貸し手側の課題に着目し、それを克服する方策はよいと思う

【長野県信用組合竹内支店長】

・当店の ATM での引き出しは外国人のお客様が增加。現金を引き出せずに困っている人が多いと感じる。キャッシュレス化にはいろいろな仕組みがある。これらの長所、短所を学ぶ機会が必要

【長野信用金庫鳥居支店長】

・キャッシュレスセミナー開催に70名の参加あり。ポイント還元、統一QRと施策が2本立てとなっていてわかりづらい。「キャッシュレス化に興味はあるけど困っていない」と答える人が大半だろう。何をやるべきなのかの整理をする切り口になってくるといい

【八十二銀行丸山支店長】

・何事において情報の一本化は必要なことだと思う。空き店舗はなぜあるとダメなのかを考えてみることも大事。まちなみ形成で問題が生じるのであれば、きれいにするための補助に切り替えたほうがいい場合もある。見極めが大事
キャッシュレスは無理やり全員がやる必要はない。必要と思われる方だけ検討してもらえばいいと思う。